

2010年度

科目名	日本語日本文学特殊講義 I A		
担当教員	宇都宮 啓吾		
配当	日文3	コード	24130
開期	前期	講時	火曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	日本語表記の歴史を理解し、その応用としての古写本分析の視点や方法を習得する。		
目的と概要	日本語の表記の歴史について、様々な典籍を利用しながら分析していく。特に、仮名の成立や諸符号の発生と変遷といった日本語の知識の応用としての古写本の分析方法についても言及する。そのため、古写本と文化史との関わりについても触れる。		
成績評価法	テスト(80%)と平常点(20%)で総合的に評価します。(全講義数の2/3以上出席することが前提であり、出席するだけで平常点が得られるわけではありません。「履修に当たっての注意・助言」を参照のこと。)		
テキスト	特に指定しない。		
参考書	特に指定しない。講義中に紹介する。		
履修に 当たっての 注意・助言	学則に従って出席(遅刻・早退等については便覧を参照のこと)を取ります。全講義数の2/3以上出席することが前提ですが、単に出席だけでなく、まじめに講義を受けることが基本です。特に、他の人の迷惑になる私語や受講放棄のような内職・居眠り等については、欠席と同様に扱います。教員としては、授業の流れや雰囲気壊したくないために、できれば不真面目な学生への注意は最小限に留めたいと考えていますが、問題と考えられる場合には注意します。その場合、3回を以って、当該学生は受験停止とします。		
講義計画			
1 オリエンテーション 2 仮名の成立と変遷(1): 奈良時代以前の表記 3 仮名の成立と変遷(2): 片仮名の成立と変遷 4 仮名の成立と変遷(3): 片仮名字体からみた古写本の分析 5 仮名の成立と変遷(4): 平仮名の成立 6 仮名の成立と変遷(5): 平仮名を巡る諸問題(御物本『更級日記』) 7 仮名の成立と変遷(6): 平仮名を巡る諸問題(平家納経) 8 仮名の成立と変遷(7): 平仮名を巡る諸問題(平家納経) 9 諸符号の成立と変遷(1): 訓点資料の概説 10 諸符号の成立と変遷(2): 声点を巡る諸問題(平安時代語の復元) 11 諸符号の成立と変遷(3): 声点を巡る諸問題(親鸞資料の分析) 12 表記と筆記具: 角筆文献の概説 13 講義のまとめ(1): 日本語と仏教 14 講義のまとめ(2): 講義の補足・質問対応 15 総括			